

		自 己 評 価			
		具体的取組	評価指標	達成度判断基準	備考
①	組織的な学校運営	〈PDCAサイクルの充実〉	【努力指標】	PDCAサイクルを意識して A：十分取り組んでいる B：取り組んでいる C：あまり取り組んでいない D：取り組んでいない	担当者：総務部 評価方法：職員自己評価 実施期間：7月・12月
		各種部会を効果的に機能させ、PDCAサイクルによる評価分析・課題解決の充実を図る。【学びの指針11条】	各部署で検証分析・改善策立案を行い、組織的に課題解決に努めた。		
		（いじめ・不登校早期発見・対応）	【成果指標】	アンケートの肯定的回答割合 A：85%以上 B：70～84% C：50～69% D：50%未満	担当者：生徒指導部 評価方法：学校生活アンケート いじめアンケート 実施期間：6月・11月・2月
		生徒指導の3機能を重視し、組織的に諸問題の未然防止・早期発見・早期対応を行う。	児童の自己肯定感やいじめに対する意識が高まった。		
		（指導力の向上）	【努力指標】	人材育成を意識して A：十分取り組んでいる B：取り組んでいる C：あまり取り組んでいない D：取り組んでいない	担当者：総務部 評価方法：職員自己評価 実施期間：7月・12月
教職員の授業力、生徒指導力、学級経営力の向上のため、校内研修を充実させ、人材育成を図る。【学びの指針10条】	目的を明確にした各種研修会を企画・運営し、人材育成に努めた。				
②	確かな学力の育成	〈学力の定着〉	【成果指標】	各種調査・テストの正答率が A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	担当者：教務部 評価方法：各種学力調査 各種評価テスト等 実施期間：各学期末
		学習規律の徹底、効果的なチャレンジタイムの実施により、学習内容の確実な定着を目指す。【学びの指針3・5・10条】	各種学力調査、チャレンジ計算テスト、評価テストにおいて正答率が向上した。		
		〈授業力の向上〉	【努力指標】	授業改善強化ポイントを意識して A：十分に取り組んでいる B：取り組んでいる C：あまり取り組んでいない D：取り組んでいない	担当者：教務部 評価方法：職員自己評価 児童アンケート 実施期間：7月・12月
		授業改善強化ポイントを意識し、主体的・協働的な学びのある学習活動の充実を目指す。【学びの指針6条】	課題提示の工夫、児童主体の学び合い、充実した振り返り活動を意識した授業実践に努めた。		
〈読書活動の充実〉	【努力指標】	並行読書・読書環境整備に A：十分取り組んでいる B：取り組んでいる C：あまり取り組んでいない D：取り組んでいない	担当者：教務部 評価方法：職員自己評価 保護者アンケート 実施期間：7月・12月		
教科学習と関連させた並行読書の実施及び読書環境の整備に努め、読書活動の充実を目指す。	並行読書の効果的な実施、読書環境の整備に努めた。				
③	豊かな人間性の育成	〈人間関係力の向上〉	【成果指標】	人間関係力の向上に A：好ましい変容がみられた B：変容が少しみられた C：変容がみられない D：後退の状況がみられた	担当者：生徒指導部 評価方法：職員自己評価 児童アンケート 実施期間：7月・12月・随時
		児童会を中心とした縦割り活動を充実させることで、人間関係力の向上と共に高学年のリーダーシップの育成を図る。	縦割り活動の充実を図り、発達段階に応じた人間関係力の向上がみられた。		
		〈道徳教育の充実〉	【努力指標】	道徳教育の推進を意識して A：積極的に取り組んだ B：取り組んだ C：あまり取り組んでいない D：取り組んでいない	担当者：教務部 評価方法：職員自己評価 実施期間：7月・12月
		道徳授業の充実及び家庭や地域と連携した道徳教育の推進を図ることで、豊かな心を育む。	発問や板書の工夫による道徳授業の充実、家庭や地域との連携に努め、道徳教育を推進した。		
〈ICT活用や情報教育の充実〉	【努力指標】	情報モラル教育の推進に向けて A：十分に取り組んでいる B：取り組んでいる C：あまり取り組んでいない D：取り組んでいない	担当者：教務部 評価方法：職員自己評価 児童振り返りカード 実施期間：7月・12月・随時		
効果的なICTの活用、情報モラル教育の推進に努め、情報教育の充実を目指す。【学びの指針7条】	学習活動での効果的なICTの活用、情報モラル教育の推進に努めた。				
④	健やかな体の育成	〈体力・運動能力の向上〉	【成果指標】	体力・運動能力に関して A：好ましい変容がみられた B：変容が少しみられた C：変容がみられない D：後退の状況がみられた	担当者：保健体育部 評価方法：スポーツテスト スポチャレ測定値 実施期間：5月・11月・2月
		1校1プランをもとに、体育授業・業間活動等を通して、体力・運動能力を育成する。	1校1プランの取組を推進することにより、体力・運動能力の向上がみられた。		
		〈基本的な生活習慣の確立〉	【成果指標】	望ましい生活習慣を身に付けた児童が A：85%以上 B：70～84% C：50～69% D：50%未満	担当者：保健体育部 評価方法：生活習慣調査 保護者アンケート 実施期間：6月・10月
		基本的な生活習慣・健康的な時間の使い方に関心を持ち、日常生活をよりよく過ごす態度を育成する。【学びの指針8条】	健康的な時間の使い方を意識し、望ましい生活習慣を身に付けた児童が増加した。		
〈保健・食育指導の充実〉	【満足度指標】	アンケートの肯定的回答割合 A：85%以上 B：70～84% C：50～69% D：50%未満	担当者：保健体育部 評価方法：児童アンケート 授業アンケート 実施期間：授業後・随時		
保健・食育の学習を通して、自己の生活を振り返り、生活改善力を育成する。【学びの指針8条】	保健・食育の学習を通して、自己の生活改善力の向上を実感している。				
⑤	家庭・地域との連携	〈あいさつのできる子の育成〉	【満足度指標】	アンケートの肯定的回答割合 A：85%以上 B：70～84% C：50～69% D：50%未満	担当者：生徒指導部 評価方法：学校生活アンケート 保護者アンケート 実施期間：7月・12月
		家庭・地域と連携して、自ら進んで気持ちのよいあいさつのできる子を育成する。	自分から進んであいさつができるようになったことを児童が実感している。		
		〈家庭学習の充実〉	【成果指標】	学年目標の達成率が A：85%以上 B：70～84% C：50～69% D：50%未満	担当者：教務部 評価方法：家庭学習調査 保護者アンケート 実施期間：6月・10月・1月
		家庭と連携して学習時間の確保を行うと共に、学習内容の質的向上を図り、家庭学習の充実を目指す。【学びの指針8条】	家庭学習の質と量が、発達段階に応じて設定した目標に到達している。		
〈開かれた学校づくり〉	【満足度指標】	アンケートの肯定的回答割合 A：85%以上 B：70～84% C：50～69% D：50%未満	担当者：総務部 評価方法：保護者アンケート 評議員の意見 実施期間：7月・12月		
授業公開・通信・学校評価等を通して、家庭・地域とつながる取組を行い、地域に開かれた学校づくりに努める。【学びの指針9・12条】	家庭や地域とつながる取組を行い、保護者・地域の方から理解や協力が得られた。				